

日本慢性期医療協会  
死亡退院の状況に関するアンケート  
集計結果まとめ

【実施】 令和3年（2021年）9月

【対象】 日本慢性期医療協会 病院会員1023病院

【回答】 504病院（病床数：83,979床※）（※介護医療院を除く）

# 回答病院：504病院（病床数：83,979床※）（※介護医療院を除く）

2020年4月から2021年3月の退院患者数

323,878 人

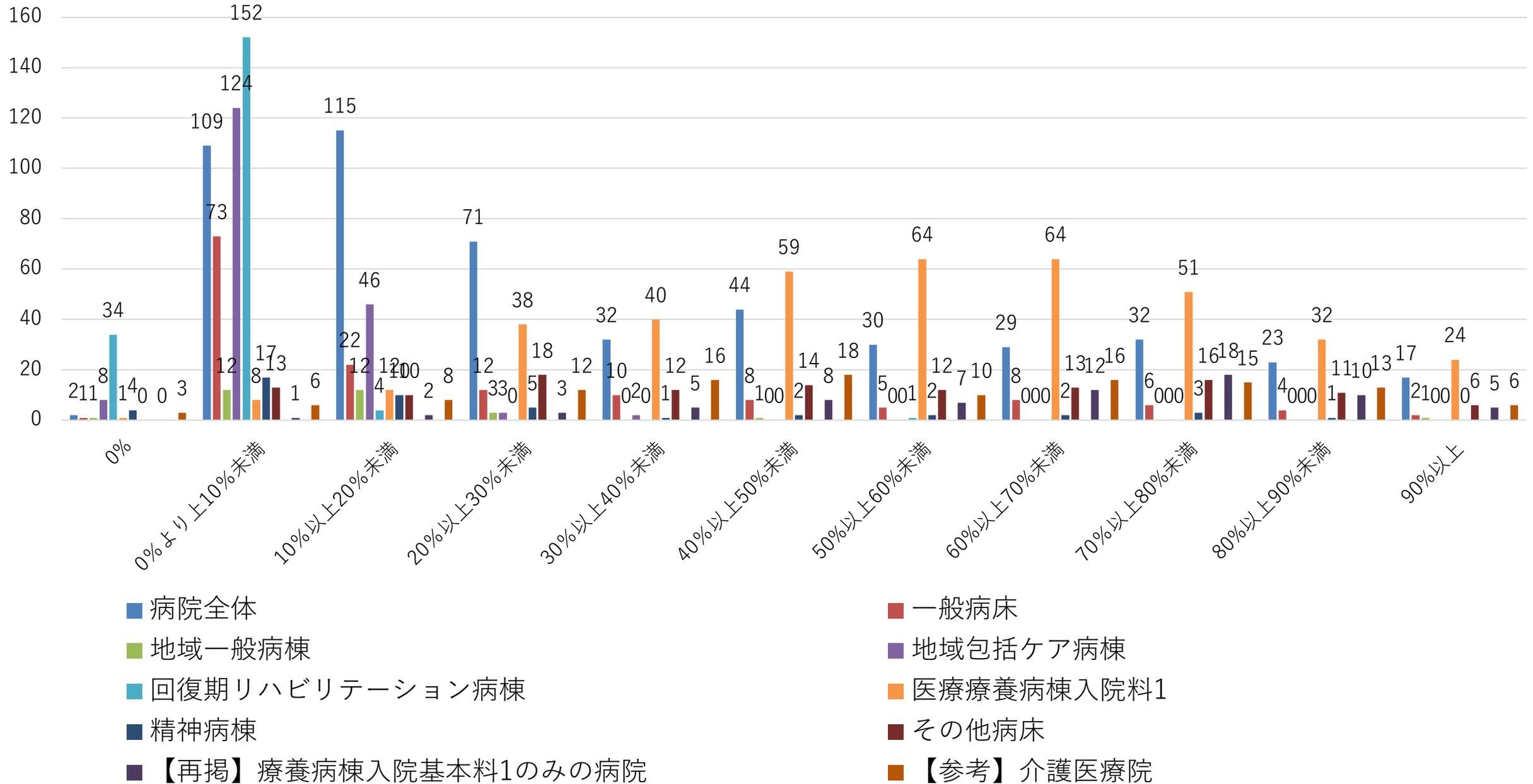
上記のうち死亡退院された患者数

50,289 人

（退院患者に占める割合 15.5%）

病床種別	病院数 (病院)	平均 死亡退院割合	
1.一般病床	151	7.9%	地域一般、地ケア、回りハ除く
2.地域一般病棟	30	11.9%	
3.地域包括ケア病棟	183	6.7%	
4.回復期リハビリテーション病棟	191	1.6%	
5.療養病棟入院基本料1	393	49.5%	
6.精神病床	47	12.2%	
7.その他病床	125	39.5%	療養病棟入院基本料2、 介護療養病床、特殊疾患病棟、 障害者病棟など
8.【再掲】療養病棟入院基本料1のみの病院	71	60.0%	
病院全体	504	15.5%	
【参考】(院内併設型)介護医療院	123	43.4%	

### 病床種別ごとの死亡退院割合



回答した会員病院のほとんどが、療養病床をはじめ、4つの病棟種別（①一般病床、②地域一般病棟、③地域包括ケア病棟、④回復期リハビリテーション病棟）など、多機能な病棟を有していることが多い。

	病院数	死亡退院率	
		病院全体	療養病棟入院基本料1
4つの病棟種別のいずれか＋療養病棟入院基本料1	235病院（47%）	16.4%	44.3%
4つの病棟種別のいずれか＋療養病棟入院基本料1以外の病棟	88病院（17%）	6.1%	-
療養病棟入院基本料1のみ	71病院（14%）	60.0%	
療養病棟入院基本料1＋その他の病棟（療養病棟入院基本料2、介護療養病棟、特殊疾患病棟、障害者病棟、介護医療院など）	87病院（17%）	46.8%	55.4%
その他の病棟（療養病棟入院基本料2、介護療養病棟、特殊疾患病棟、障害者病棟、介護医療院など）のみ	23病院（5%）	22.2%	-
全体	504病院	15.5%	(393病院) 49.5%

4つの病棟種別（①一般病床、②地域一般病棟、③地域包括ケア病棟、④回復期リハビリテーション病棟）医療療養病棟入院基本料1（療養1）の組み合わせ別に「療養1」の死亡率を見ると、療養1のみの病院の死亡退院率（60.0%）の方が高い。

病床種別				病院数	【療養1】死亡退院率（%）	
			回リハ	療養1	40	42.9
		地ケア		療養1	38	38.7
		地ケア	回リハ	療養1	30	43.0
一般		地ケア	回リハ	療養1	29	43.6
一般				療養1	28	54.6
一般		地ケア		療養1	25	46.8
一般			回リハ	療養1	22	48.7
	地域一般	地ケア		療養1	9	47.6
	地域一般			療養1	5	44.4
	地域一般		回リハ	療養1	4	35.7
	地域一般	地ケア	回リハ	療養1	3	46.6
一般	地域一般	地ケア		療養1	1	43.1
一般	地域一般		回リハ	療養1	1	69.0
一般	地域一般			療養1	0	-
一般	地域一般	地ケア	回リハ	療養1	0	-
				合計	235	44.3

- ◆療養病床の他に回復期リハ、地域包括ケアなどの他の病床種別を併せ持っている病院では、療養病床の死亡率が高いのではないかと予想していたが、療養病床単独の病院と比べて療養病床の死亡率に有意な差は見られない。むしろ死亡率は低い。
- ◆院内に介護医療院を有している場合でも、介護医療院の死亡率より療養病床の死亡率が高い場合も見られる。
- ◆死亡時の医療の必要性により、入院ベッドを選択されているのではないかと考えることができ、介護医療院が一概に終末期のターミナルを担うベッドになっているとは言えない。
- ◆死亡率で見れば、一般病床の死亡率は10%未満のところから90%を超えるところまでさまざまである。
- ◆同じく、療養病床の死亡率も、全体的に一般病床よりは死亡率が高いものの、10%未満のところから90%を超えるところまでさまざまである。

- ◆ 療養病床の死亡率には、地域内に在宅医療も含めたどのような医療資源が備わっているのかということも関わっているのではないか。
- ◆ そういった周辺環境も影響し、同じ療養病床といえども、「治療」、「リハビリテーション」、「慢性期救急対応」「ターミナル対応」など病院によってどの機能に特化しているかで、療養病床のタイプが大きく異なっていて、死亡率の差がでていのではないかと思われる。
- ◆ また、病院全体の死亡率で見れば、100.0%と出る病院もあるが、退院患者が少なくデータとして見ることは不適當である。
- ◆ 逆に、死亡率0.0%の病院は、回復期リハビリテーション病棟などの在宅復帰に特化した運営であり、いろいろな病床種別との比較は不適當である。
- ◆ 死亡率にはいろいろな条件が絡んでいると思われ、死亡率だけを見て、病院のあり方を議論することはできない。

今後介護保険施設や、自宅での死亡が増えてくるかもしれないが、このような場合も、地域の慢性期多機能病院の役割を十分に果たしていきたい。

良質な慢性期医療がなければ  
日本の医療は成り立たない



日本慢性期医療協会  
JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES